

Non Profit Organization
NARA FORUM21

naraなら



やればできる

奈良二十世紀フォーラム理事長

石橋 毅一

奈良21世紀フォーラムが、法人として発足して
からまもなく三年目を迎えます。この間、デフレの
風は吹きやまず企業経営の不振からこの国では一日
平均三人が自らの生命を絶つというすさまじい事件
がつづいています。

奈良21世紀フォーラムが存続し得たのは、ひとえ
に会員各位の非営利市民活動への支援によるもので
あり、まず心からお礼を申しあげます。

石の上にも三年と申しますが、三年目の新年度は
ややこうべをあげて、二つの活動を重点に事業を展
開して参りたいと思っております。

その一つは、我が国の数少ない国家戦略にもなっ
ている高速の情報通信網を奈良県につくる試みです。
世界遺産と伝統芸術、伝統産業の映像ソフトを集
め、国内はもとより全世界にむけ奈良から発信する
事業です。この活動を推進するため、強力な専門家
からなる世界遺産都市活性化市民会議が去年十一月
発足しました。

もう一つは、下水道化のすすむ水辺の環境を回復す
る活動です。旧年は吉野川の水源地域の環境保全の
活動に協力しましたが、今年さらには原生林の立ち
枯れが目立つ大台ヶ原や水質悪化のとまらない大和
川水系にも目を向けてまいりたいと思います。

会員各位には御多用とは存じますがこれらの活動に
対するご提案、ご参画をお願い申し上げます。

魅力ある奈良の世界遺産ビデオをあつめて世界に発信しよう。

奈良県では「法隆寺地域の仏教建造物」と「古都奈良の文化域」の二件がユネスコの世界遺産に登録されています。ユネスコから指定をうける直前には、世界遺産を紹介する映像ソフトが数多く制作されましたが、その後どこかのお庫に入り観光客も市民も今ではなかなか見る事ができません。一方、奈良や斑鳩の里を訪れる観光客や修学旅行者は指定直後とはもかく、減少に歯止めがかかりません。

(一) 人類共通の資産とも云える奈良の世界遺産の映像ビデオを一堂にあつめて、大型スクリーンなどで上映する展示センターをもうける他、インターネット等を通して内外に情報発信する。(二) 関連する古典芸術、芸能、年中行事、伝統工芸と産業などを紹介するソフトやコンテンツを新たに制作する。

以上のような活動を推進するため奈良21世紀フォーラムは、特別委員会として世界遺産都市活性化市民会議を二〇〇二年十一月発足させ、毎月、なら一〇〇年会館で定例会議を開いています。

奈良21世紀フォーラムは、これまでも「ブロードバンドのIT革命」をテーマにシンポジウムを開催したり、「ならまちの年中行事の映像記録保存活動」を展開したりしてきましたが、これらをもつにまとめて市民会議の活動とすることにしました。



大和の食文化を考える
第五弾リポート

灯火ゆらゆら…三時間 幻の東大寺結解料理を いただく。

二〇〇二年、紅葉の東大寺本坊の座敷の昼下がり。雨戸も閉め切り、部屋を真つ暗にして六本の百目ろうそくがともされる。その薄明かりの中を盛装（といつてもたいしたことはない）の初老の男女二十数人（フォーラム会員のこと）が東大寺の守護神をまつる祭壇を上座にして座敷の両側に緊張のおももちにて緋毛氈に座る。

やがて、和服に袴、白足袋の二人の僧が初献の膳をうやうやしくささげ、上座から順に配る。このあと、上院院長主森本公誠博士の説明を聞きながら結解料理をいただくことになりました。

【献立】 ぼたもち、あげ豆腐のすまし汁ごまかけ、青菜の酢味噌あえ、奈良漬、白砂糖

小豆のぼたもちには白砂糖をつけてたべるが、僧のおすすめでつつい二つ三つとたべ、それだけで胸が一杯になる。

これが、東大寺伝承の結解（けっけ）料理のスタート。「結解」とは、華厳

衆徒の資格試験に合格すること。難問を解くという意味で、経文の内容を講師と受験者が問答しているうちに日が暮れ、夜長の接待に出されるのがこの精進料理。料理は年貢米を納めたときにも接待として出されるそうだが、くわしいことは記録が少なくよく解らない。

いずれにしろ、今回は奈良シルクロード博のプロデューサーを務めた作家井上靖がごちそうになって以来という。わたしたちは、「ふるさと大和の味を考える」シリーズの一つとして、大仏開眼一二五〇年祭で超多忙な森本師に無理をいい実現したものを。

初献で約一時間、式献で二時間、参献でさらに二時間。最後に抹茶にそえられて出される「紅白おぼろまんじゅう」は、さすが虎屋より良かった。かくして前後三時間、ゆらゆらゆれるロソクのかかりのもと料理をいただく。薄暗いサウナで密談するマフィアのように、親密さが芽生えるから不思議。

